

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を簡潔に記入してください。
 下記に必要事項を記入または○をつけてください。1ページ以内に収まるよう記入してください。

組織・グループ名	社会福祉法人南足柄市社会福祉協議会
グループの属性	①セルフヘルプグループ・当事者団体等 ②ボランティアグループ等 ③市町村社会福祉協議会及びそれを構成員とする実行委員会等
助成区分 該当テーマ等	①一般助成 ②協働モデル助成 ※②を選択した場合、本会の提示した該当テーマを記入 [社会福祉法人の協働による「地域のおひとり様の暮らしを支える身元保証と終活支援」]
助成事業名	1. アンカーサポート相談及びアンカーサポート事業（モデル事業）の実施 2. 関連団体との連携によるエンディングノート配布

助成事業の概要〔目的・取組み概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入。

1. アンカーサポート事業



少子高齢化や地縁・血縁のつながりが希薄になっている情勢を踏まえ、いざ入院や入所となった場合の身元保証人になる「入院入所時支援サービス」「保証サービス」や、死後の様々な手続きを担う「死後事務手続きサービス」を行う「アンカーサポート事業」を令和3年度から開始しました。現在まで4名の方がご契約され、毎月の見守りの他、実際に入院時の手続、遺言書の作成支援などの対応を行ってきました。これまでに、終活への意識が高い方や、親族が保証人を継続できなくなり、入所先の施設側が危機感を持った方などから相談がありました。今後は、まだ介護を必要としていない方や施設関係者等、この事業を必要としている方へより周知できるよう努めていきます。



契約ケース 80歳代、独居男性。死後事務手続きサービス契約。ご本人は、体の弱い親族に頼らず、自分で事前に葬儀の準備ができないものかと思い、日ごろから情報を集めていましたが、具体的な行動には踏み切れずにいました。その頃、地域のタウン誌でこの事業について知り、身近で安心感が持てたとのことで相談にいられました。その後、葬儀の見積もり、死後のアパートの家財処分やライフラインの停止等の手続についても、相談を重ね、契約に至っています。現在もお変わりなくお過ごしです。

2. エンディングノート配布

「わたしのしおり」と題した、南足柄市社協オリジナルのエンディングノートを、今年度497部、累計1663部を地域の方へ無料で配布しました。また地域へ出向き、出前講座として書き方講座（計10か所/延べ194名）を実施しました。実際に参加された方からは、「しおりを見て、やるべきことが多いことに気づいた」「初めて聞く話が多かったが、聞いてみてすこし気が楽になった」等の声をいただきました。老後について漠然と不安を持たれている方が多い一方で、終活について相談できる窓口が少ないという課題も見えてきました。今後は住民が活用しやすい、終活全般についての相談に対応できる、「終活相談窓口」の設置を検討します。

